

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など	対応
環境・ 体制整備	①利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・定員10名に対し、十分なスペースが確保されている。	今後も整理整頓を行い、より快適なスペースを維持できるよう努めていく。
	② 職員の配置数は適切であるか	○			・満たされている。	職員の専門性やスキルなども考慮し、子ども達にとってより良い療育ができると思った異動、各事業所のスキルのバランスを考えた適切な配置は今後も行っていく。職員個人のスキルを高め、誰が異動になってもより良い支援が提供できるよう努めていく。
	③事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			・トイレに手すりを設置している。 ・整理整頓に努めている。	安易なバリアフリー化、子ども達のスキルを低下させてしまう恐れもあるため、必要に応じて設備を協議していく。
業務改善	④業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返りに)、広く職員が参画しているか	○			・目標設定をして、より良い支援の向上を目指している。 ・朝会等で意見を言える場を設けている。	全職員がより多くの意見を提案できるよう、研修を行い意識を高めていく。
	⑤保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・保護者向け評価表の結果を踏まえ、職員間で話し合い改善に努めている。	今後も保護者さまの意見を把握し、改善に繋げていく。
	⑥この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・保護者と職員に自己評価の結果を公表し周知している。 ・玄関への掲示とホームページにて公表している。	今後も公表していく。
	⑦第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	・外部評価は行っていない。	必要性を感じた場合は法人理事会において協議を行う。
	⑧職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%			・社内研修や施設内研修を毎月行い、スキル向上に繋げている。	今後も継続して研修を繰り返し、人材育成に努める。
適切な 支援の 提供	⑨アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			・会議にて、保護者のニーズを踏まえ職員から子どもに対して必要な支援について提案をしている。 ・発達検査の結果なども発達状況を把握し、支援計画に活かしている。	今後も日々子どもの様子を検証し、保護者のニーズや子どもの課題を考慮して作成していく。
	⑩子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			・法人内共通のものを使用している。	今後も法人で統一した方法で整備していく。
	⑪活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・全職員で意見を出し合い、利用児に必要な支援を取り入れている。	今後も全職員から意見を出し合っていく。
	⑫活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・マンネリ化にならないよう計画を立てている。	今後も子ども達が楽しく学べるよう活動内容を模索していく。
	⑬平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			・長期休暇や休日ならではの活動を取り入れ多角的に成長する機会を設けている。	今後も状況に適したプログラムを設定していく。
	⑭子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・集団活動の中で必要に応じて個別での配慮を行い子どもの成長に合った支援を行っている。	必要に応じて計画を作成していく。
	⑮支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・朝会や屋会にて話し合いや情報共有を行い、子どもの安全、安心に努めている。	今後も情報共有や支援内容を確認し、より良い支援を提供していく。
	⑯支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			・活動後は施設長へ報告を行い、全職員へは翌日の朝会にて報告している。	今後できるだけタイムリーな情報共有を行っていく。
	⑰日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・朝会で話し合われた子どもの様子について業務日誌やケース記録を作成している。	活動以外の自由遊びなどでの様子など、より細かい詳細を記録していく。
	⑱定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			・6ヶ月以内で行い、職員から意見を出し合い計画の見直しを行っている。	定期的なモニタリングを行ない、利用児のステップアップに繋げる。
⑲ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			・適宜組み合わせを行い、ガイドラインの確認をしている。	今後も継続していく。	
	⑳障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			・児童発達管理責任者又は施設長が参画している。	職員間での情報共有を行い、子どもの支援に繋がれるように努めていく。
	㉑学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			・保護者の同意を得た上で、学校での様子などの引き継ぎを行い共通理解に努めている。	今後も保護者様からの依頼や同意のもと行っていく。
㉒医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			・看護師配置がなく、受け入れを行っていないため該当しない。	受け入れする際は連携を図っていく。	

関係機関や保護者との連携	㉓就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			・現在機会がない。	保護者様からの要望があった場合は対応していく。
	㉔学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			・該当者なし。	保護者様からの要望があった場合は対応していく。
	㉕児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			・現在、研修等の機会はないが、相談支援事業所や医師からアドバイスを頂く機会がある。	必要に応じて連携を取り、助言や研修を受けていく。
	㉖障害のない子どもと活動する機会があるか	○			・外出支援やスキーバジテストにおいて、一般の方々と関わる機会を設けている。	引き続き、このような活動を設けていく。
	㉗(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○		・要請なし。	要請があった場合は参加を検討していく。
	㉘日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・送迎時の引き継ぎや面談、電話対応や連絡ノートで共通理解を図っている。	今後も情報交換を行い共通理解を深めていく。
	㉙保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			・施設長や児童発達管理責任者が中心となり、必要に応じて個別で行っている。	今後も保護者様に寄り添った対応を行っていく。
保護者への説明責任等	㉚運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・見学、契約時、必要に応じて更新時、丁寧に説明するよう心掛けている。	・今後も面談時や書面などで分かりやすく発信していく。
	㉛保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・安易な返答はせず、その都度子どもの現況に応じて保護者様からの悩みや相談に適切に対応するよう心掛けている。	今後も継続し丁寧な対応に努め、保護者様に寄り添っていく。
	㉜父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			・運動会や親子参加型のボウリング大会を開催している。	今後も定期的なイベントを開催し、保護者様同士の交流が生まれる計画を立てていきたい。
	㉝子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・苦情処理委員会を設置している。	苦情が発生した場合は「苦情解決処理体制及び手順」に基づき、迅速に対応していく。
	㉞定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・通信を毎月発行し、子どもの様子を掲載している。 ・活動予定表には目的も記載している。	今後も保護者様に喜んでもらえる通信を発信していく。
	㉟個人情報に十分注意しているか	○			・「個人情報利用の目的」に従い、取り扱いには細心の注意をしている。	今後も研修等を重ね、より一層セキュリティ強化に努める。
	㊱障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			・利用児に合わせた配慮を行うことで意思疎通に努めている。 ・保護者様へは送迎時に話しをする時間を設けているが他の子どもが乗車している場合もあるため、必要に応じて電話や連絡ノートを活用して対応している。	・利用児に合わせた配慮を行うことで意思疎通に努めている。 ・保護者様へは送迎時に話しをする時間を設けているが他の子どもが乗車している場合もあるため、必要に応じて電話や連絡ノートを活用して対応している。
非常時等の対応	㊲事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			・不特定の住民を招待することは、利用児のプライバシーや防犯の観点から好ましくないと考えている。ただ、作品展を開催し地域住民の方へ公開する場を設けている。	今後も利用児の安全保護のため、招待する等は行う予定はないが、作品展や地域貢献活動を行っていく。
	㊳緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			・職員研修を行っており、保護者様には毎年4月にマニュアルや必要に応じてプリントを配布している。	今後も変更等が出た場合は、迅速に情報公開し周知していく。
	㊴非常災害の発生に備え、定期的避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・年に2回行っている。(3月火災・9月地震)また、不審者への対応訓練も研修と実践を行い、子ども達にも周知している。	今後も継続して取り組んでいく。
	㊵虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・法人として年2回の虐待防止委員会を開催しており、内容を事業所内でも周知している。また同月に虐待防止研修も行っている。	研修を重ね、より適切な対応ができるよう努めていく。
	㊶どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			・契約時や必要に応じて面談で説明している。虐待防止・身体拘束廃止委員会を開催しており、内容は事業所内にも周知している。	研修を重ね、より適切な対応ができるよう努めていく。
	㊷食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			・契約時にアレルギーの有無を確認している。また毎年フェイスシートの更新時や随時、保護者様から依頼があれば間違いがないようスタッフ間で共有し対応している。	継続して取り組んでいく。
㊸ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・小さなことでも提出し、法人全施設において共有している。	職員が自発的に提出しやすい環境を整備する。また同じ失敗を繰り返さないよう人材育成に努める。	